

中等教育研究開発室年報 第35号 (2022年3月31日発行) 別冊電子版
2021年度 授業実践事例

英語科 中学校第1学年

1人1台のICT機器を活用した授業の実践
You Can Do It! ② 「ドリームファミリー」を紹介しよう
Here We Go! English Course 1 (光村図書)

授業者 藤沢 崇志

(校内研究授業)

広島大学附属中・高等学校

中学校 外国語科（英語） 学習指導案

指導者 藤沢 崇志

- 日時** 令和3年11月10日（水） 第4限
- 場所** 1年A組教室
- 学年・組** 中学校1年A組40人（男子20人 女子20人）
- 単元** You Can Do It! ② 「ドリームファミリー」を紹介しよう
Here We Go! English Course 1（光村図書）
- 目標**
1. 三人称単数現在形のsを正しく使うことができる。（知識・技能）
 2. be動詞と一般動詞を正確に使い分けることができる。（知識・技能）
 3. 人物の特徴を踏まえた紹介文を作成し、話の展開や順序を考えて発表することができる。（思考・判断・表現）
 4. 相手に伝わりやすいように発表内容や発表の仕方を工夫しようとしている。
(学びに向かう力, 人間性等)

指導計画（全2時間）

第一次 教科書の内容理解, 資料作成の準備 1時間（本時）

第二次 資料作成, 発表 1時間

授業について

本単元のねらいは、「ドリームファミリーの紹介から、家族の情報などを聞き取ることができる」とこと、「グループで考えたドリームファミリーを紹介することができる」とことである。教科書では、大家族向けの車のCMを作るという設定で、9人の家族を自由にキャスティングして紹介することになっている。ただし、このうち3人はすでに設定されており、まずはこの3人についての情報を聞いて正しく把握することが第1段階となる。その上で、第2段階として残りの6人のキャスティングを考え、資料としてまとめて発表する、という流れである。また、発表に向かう中で、グループで考えを共有し1つの流れにまとめ上げるという経験を積ませることもねらいとしている。さらに、この単元はUnit6の直後に設定されており、Unit6を通して学習してきた三人称単数現在形のsを正しく使うことができるかを再度確認することができる。be動詞と一般動詞の使い分けも含め、第三者についてどのように述べるかを確認させたい。

学習指導要領の関連項目としては、「聞くこと」の「ア はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができるようにする」や、「話すこと[発表]」の「イ 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」が挙げられる。また、発表前の資料作成の段階で英文を書くことから、「書くこと」の「ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする」がどの程度達成できているかも確認する。

なお、全体での考え・意見の共有やグループでの話し合いを深めるツールとして Google Jamboard の利用を試み、発表資料としてまとめる際には共同編集のできる Google スライドを利用する。

題目 1人1台のICT機器を活用した授業の実践

本時の目標

1. 示された話題について、必要な情報を聞き取ることができる。(思考・判断・表現)
2. 示された事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。(知識・技能)
3. 他者と協力し、話す順序や表現を工夫しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

本時の評価規準（観点／方法）

1. 示された話題について、必要な情報を聞き取っている。(聞くこと[思考・判断・表現/観察])
2. 示された事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書いている。(書くこと[知識・技能/観察])
3. 他者と協力し、話す順序や表現を工夫する様子が見られる。(話すこと[発表]の主体的に学習に取り組む態度/観察)

本時の学習指導過程

学習内容	学習活動	指導上の留意点
1. 帯活動	・会話文のリポート, ロールプレイ	
2. 導入	・口頭で人物について述べる ・Google Jamboard を使って人物について述べる	・生徒の表現を確認して、ミスがあれば訂正し共有を図る
3 教科書のリスニング	・場面設定を確認する ・リスニングをして内容を理解する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通す</div>	
4. 音読	・リスニングした文を音読する	・意味も適宜確認する
5. 発表イメージの共有	・指導者の例を聞き、発表イメージを持つ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通す</div>	
6. 発表資料作成準備	・グループで発表の内容や方法を話し合い、イメージを共有する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">話し合う</div>	・進捗状況を各グループに確認して回る
備考		

You Can Do It ② 「ドリームファミリー」を紹介しよう pp.100~101

Date _____ Class _____ No. _____ Name _____

◆Practice Reading

	English	Notes
	Hello, everyone. We want to introduce our "dream family" to you.	
1	<p>The grandmother is Himiko.</p> <p>She lives in Yamataikoku. She is the queen there.</p> <p>She lives in a big house. She has one thousand women around her.</p> <p>She has great power. She can see the future.</p> <p>She is smart. And she is beautiful.</p> <p>But she never comes out of her house. So I can never see her.</p> <p>She is mysterious.</p> <p>By the way, where is Yamataikoku? I don't know.</p> <p>That's a mystery, too.</p>	
2	<p>The father is Hoshino Ken.</p> <p>He is a P.E. teacher at Honcho Junior High School.</p> <p>He likes sports. He can run fast. He can swim fast, too.</p> <p>He is good at soccer, baseball, and basketball.</p> <p>He likes climbing mountains.</p> <p>I sometimes enjoy climbing mountains with him.</p> <p>He is usually kind but sometimes strict. I like him very much.</p>	
3	<p>The uncle is Sakamoto Ryoma.</p> <p>He is very famous. He is from Kochi.</p> <p>He is good at kendo, but he never fights with other people.</p> <p>He is very friendly.</p> <p>He has a good teacher. His teacher's name is Katsu Kaishu.</p> <p>He has good friends, too.</p> <p>Two of them are Saigo Takamori and Kido Takayoshi.</p> <p>He is strong, kind, friendly, and very active. He's a nice uncle.</p>	

You Can Do It ② 「ドリームファミリー」を紹介しよう pp.100~101

Date _____ Class _____ No. _____ Name _____

1. 聞き取れたことを書きましょう。(英語で)

① Grandmother (_____)

② Father (_____)

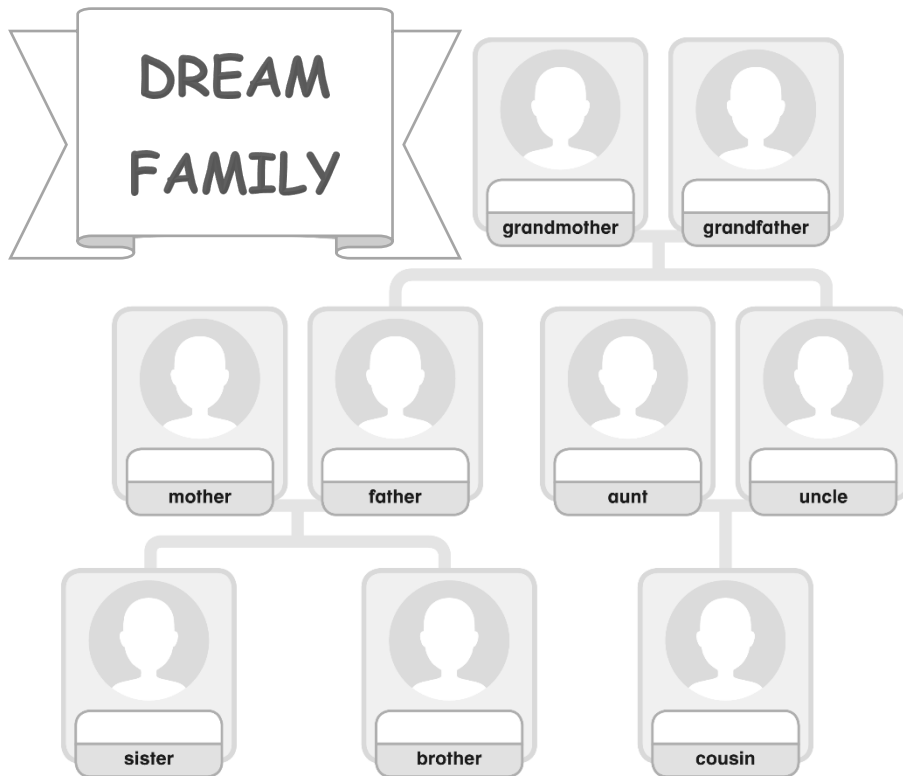
③ Uncle (_____)

2. グループで Dream Family を考えて役割を分担しましょう。

Member	Name	担当者	Notes
[例] brother	Otani Shohei	Fujisawa	He is popular.
grandfather			
mother			
sister			
brother			
aunt			
cousin			

Our Dream Family ...

() Family



3. 自分が担当する家族を紹介しましょう。

<p>Member () ; Name ()</p>	<p>[Slide]</p>
<p>Member () ; Name ()</p>	<p>[Slide]</p>

1. 授業説明

本授業では、生徒の手元にある1人1台のパソコン（ICT機器）を使い、全員で参加する形式の授業実践を試みた。黒板にはスクリーンを設置し指導者のパソコンの画面を表示した。また、生徒がそれぞれインターネットに接続できている状態で授業を行った。

導入の部分では、ある人物やキャラクターを提示し、生徒がその人物やキャラクターを説明する語句や文を Google Jamboard 上に書くという学習を行った。文を作る際は第三者について書くことになるので、be 動詞の正しい選択や三単現の s の使用が必要となる。ICT 機器を活用することで生徒が自分の考えを表現しやすくなり、結果として教師も個々の生徒の理解状況を把握しやすくなるという利点が生じた。実際に形容詞と副詞の使い分けや三単現の s の使用、be 動詞の選択などにおいて誤りが見られ、それらをその場で確認することができた。その際、単語で表現させるよりも一文を書かせた方が、生徒の理解力をより測りやすい。

後半は、架空の家族を作って紹介するという課題にグループで取り組んだ。家族のテーマと構成メンバーを考え、各メンバーについて担当者が紹介するという内容である。最初に共通する情報を聞き取る学習活動を行った。情報を聞き取ると同時に、発表の内容や構成を知るといった意味合いも含まれ、学習を「見通す」という点につなげることができた。

発表資料作成の際は、複数名が同時編集できるように設定した Google スライドを活用することで、資料作成の効率化を目指した。教師も手元のパソコンから編集状況を閲覧できるため、適時の助言を与えることができるという利点があった。生徒には家族を構成する上でのテーマを考えさせたが、先に家族の構成メンバーを考え、あとから共通点を見出すというグループもあった。プレゼンテーションにおいてテーマや目的を明確にすることを経験させるならば、初めにテーマを考えてからメンバー構成に移るといった手順を踏むべきであった。そうすることで、個別の作業の中にもグループとしての一貫性が生まれる。

2. 研究協議より

- ・リスニングの際には、何に焦点を当てて聞き取るかの提示があると良い。1 回目は全体を大きく捉えて、2 回目はより細部に注目してなど、聞く回数によって視点を変えてもよい。
- ・リスニングでは書かせる活動も効果的。紹介の中にどんな要素が盛り込まれているかを生徒一人ひとりに考えさせたい。
- ・「どのように」という方法に力点を置いた授業構成だったので、同時に「何を」の部分もより意識したものにしたい。
- ・三単現の s が正しく使えているかを見るというのも一つのテーマだったと思うが、三単現の s はなかなか定着しにくい内容でもある。この時点で完璧にするというのではなく、最終的な定着はもっと長い目で考えても良いかもしれない。

